

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年4月23日（火）
- 2 確認箇所
多核種除去設備等処理水測定・確認用設備
- 3 確認項目
多核種除去設備等処理水の試料採取状況

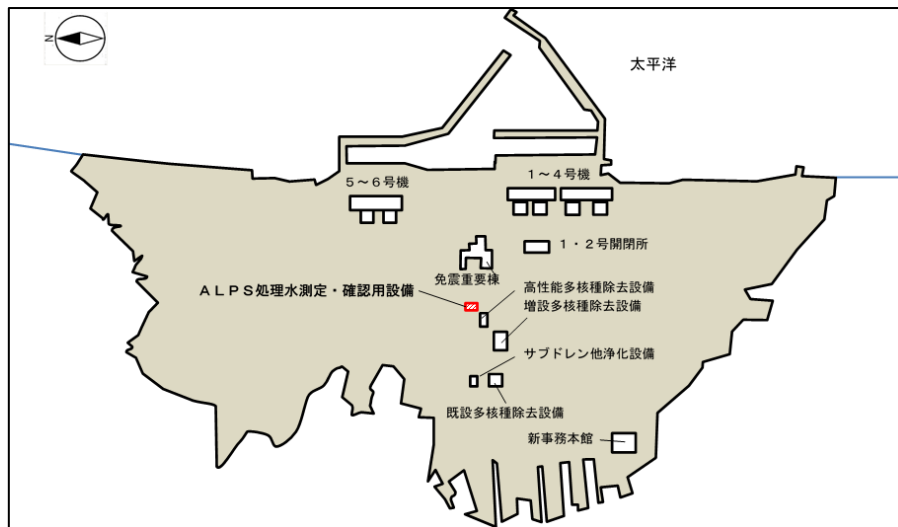
4 確認結果の概要

東京電力は、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出に際して、希釈前のALPS処理水の核種濃度や水質を測定し、トリチウム以外の放射性核種が法令上の基準以下となっていることを確認している。（トリチウムは海水で希釈して法令上の基準を満足させる。）

東京電力では、ALPS処理水の第7回目の放出に向けて、J9エリアA/B群及びK1エリアC/D群のタンクに貯留しているALPS処理水を測定・確認用タンクB群に移送後、4月16日から循環攪拌運転を行っている。

本日は、循環攪拌運転が行われているB群のALPS処理水の試料採取が行われることから、その状況や手順を確認した。（図1）（前回確認：[令和6年3月25日](#)）

- ・試料採取は、サンプルタンク循環ポンプが設置されている多核種移送設備建屋において、試料採取専用の系統から行われた。（写真1）
- ・試料採取の際、配管のフラッシング（配管内部の水の除去）が行われた後、測定対象及び測定機関ごとに容器を分けて試料の採取が行われた。（写真2）
- ・試料の採取にあたっては、共洗いを2回行った後に試料採取が行われた。また、コンタミ防止のため、試料採取者と弁操作者の役割分担がなされており、確認した範囲では適切に試料採取が行われていた。
- ・試料採取時間（＝試料採取終了時刻）が確定した後、各容器には、採取時間、試料名等を記載したラベルの貼り付け作業が行われた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
試料採取の状況



(写真2)
採取された試料の状況



(写真3)
試料ラベル貼り付け作業の実施状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。